

読解

江戸時代の寿司は、重ねて積むのが常識？

浮世絵には親子とお寿司をモチーフにしたものがあります。歌川国芳の美人画『縞揃女弁慶』です。

袖にすがってお寿司をねだる子どもの様子とともに握り寿司が描かれています。お寿司の部分に注目してみると、一番上にはエビらしき握り寿司があり、その下には卵でくるんだ巻き寿司のようなものがあります。少し見づらいですが、さらにその下にも押し寿司らしきものが乗っています。ここで不思議なのは、お寿司を縦に積んでいるところではないでしょうか。

これは偶然ではありません。他の浮世絵でも、お寿司は縦に積まれています。

末広恭雄の『魚づくし』という本でも、これは江戸期から明治にかけての東京の握りずしの盛り方の基本とされており、少なくとも大正期までは「積む」というスタイルが取られていたと紹介されています。

では、当時なぜお寿司を積んでいたのでしょうか。大川智彦著『現代すし学』では、この積み方について解説しています。以下引用すると

(当時)握りずしはこのように積み上げるのが本筋であって、平面的に並べる盛りつけ(『流し積み』と呼ぶ)は、遊郭の料理屋やその界隈の屋台などいわゆる悪所でのやり方であったという。また戦前は「流し積み」を一般家庭に出前すると「堅気の家には台屋(遊郭用達の仕出屋)のすしを持って来るな」と怒られることもあったという。

現代のようなお寿司の盛り方を「流し積み」と呼んだことや、それが避けられた経緯も今では考えられないですね。

ふりがな付き（重要語彙）

えどじだい すし かさ つ じょうしき
江戸時代の寿司は、重ねて積むのが常識？

うきよえ おやこ すし うたがわくによし びじん が しま
浮世絵には親子とお寿司をモチーフにしたものがあります。歌川国芳の美人画『縞
揃女弁慶』です。

そで すし こ ようす にぎ ずし えが
袖にすがってお寿司をねだる子どもの様子とともに握り寿司が描かれています。
お寿司の部分に注目してみると、一番上にはエビらしき握り寿司があり、その下
には卵でくるんだ巻き寿司のようなものがあります。少し見づらいですが、さらにそ
の下にも押し寿司らしきものがあります。ここで不思議なのは、お寿司を縦に
積んでいるところではないでしょうか。

ぐうぜん ほか うきよえ すし たて つ
これは偶然ではありません。他の浮世絵でも、お寿司は縦に積まれています。

すえひろやすお さかな ほん えどき めいじ とうきょう にぎ
末広恭雄の『魚づくし』という本でも、これは江戸期から明治にかけての東京の握
りずしの盛り方の基本とされており、少なくとも大正期までは「積む」というスタ
イルが取られていたと紹介されています。

とうじ すし つ おおかわともひこちよ げんだい がく
では、当時なぜお寿司を積んでいたのでしょうか。大川智彦著『現代すし学』で
は、この積み方について解説しています。以下引用すると

とうじ にぎ つ あ ほんすじ へいめんてき なら
(当時)握りずしはこのように積み上げるのが本筋であって、平面的に並べる
盛りつけ(『流し積み』と呼ぶ)は、遊郭の料理屋やその界隈の屋台などいわ
ゆる悪所でのやり方であったという。また戦前は「流し積み」を一般家庭に
出前すると「堅気の家に台屋(遊郭用達の仕出屋)のすしを持ってくるな」と
怒られることもあったという。

げんだい すし も かた なが づ よ さ けい
現代のようなお寿司の盛り方を「流し積み」と呼んだことや、それが避けられた経
緯も今では考えられないですね。

重要語彙

- **江戸時代**：1603年から1868年までの日本の歴史時代
- **常識**：みんなが知っている、あたりまえのこと
- **浮世絵**：江戸時代に人気があった絵、木の板に彫って紙に刷った多色刷りの絵
- **モチーフ**：絵や物語を作るときの題材や主題
- **歌川国芳**：江戸時代に、とても有名な絵（浮世絵）をかいた人
- **袖**：服の腕を入れる部分
- **すぎる**：困っているときに、誰かに「助けて」と言う
- **ねだる**：欲しいものをしつこく頼む
- **注目する**：特に気をつけて見る
- **～らしき**：～のように見える、～と思われる
- **くるむ**：何かですっぽり包む
- **さらに**：もっと、それに加えて
- **縦に**：上から下への方向に
- **偶然**：思ってもいなかったこと、計画せずに起こること
- **末広恭雄**：日本の水産学者・随筆家
- **江戸期**：江戸時代のこと
- **明治**：1868年から1912年までの日本の歴史時代
- **盛り方**：料理を皿に盛るときの方法
- **～とされる**：一般的にそう考えられている
- **大正期**：1912年から1926年までの日本の歴史時代
- **当時**：その時代、その時期
- **～著**：～が書いた、作った
- **解説する**：詳しく説明する
- **引用する**：他の人が言った言葉や書いた文章を使う
- **本筋**：物語や話の中心となる流れ

- **盛りつけ**：料理をきれいに皿に盛ること
- **遊郭**：江戸時代に遊びや芸能の場所として認められていた特別な地域
- **界限**：あるところの周り
- **屋台**：移動可能な簡易な飲食店
- **いわゆる**：一般に言われている、いわば
- **悪所**：犯罪や不道德な行為が行われる場所
- **戦前**：第二次世界大戦が始まる前の時代、約80年前より前
- **出前する**：注文を受けた料理を家に届けること
- **堅気**：正業に就いている人、真面目に生きている人
- **用達**：必要なものを届けたり手配したりすること
- **仕出屋**：料理を作って届けてくれる店
- **経緯**：物事がどのように進んできたか



しまぞろいおんなべんけい
高柳女 弁慶